

チーム えがお

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子



発行者:校長 岡田 達也

えがお かがやき かんばる 学校 おうえんだん 「チーム北川」～



すごいぞ! 北川 ～ 北川地区の文化財と史跡を学ぶ! ～

6年生は、15日(水)の5・6校時、総合的な学習の時間において、「北川の昔を訪ねる会」の方を講師にお招きして北川地区の文化財と史跡について学びました。

本年度から、指導計画を見直して、昨年まで3学期に行っていた地域を学ぶ『キラリ発見!北川』を1学期に変更しました。

この日は、「遺跡」「古墳」「寺院」「古城址」「石像物」「高瀬舟」「古道」「悲眼院」「井笠鉄道」の概要について写真や資料をもとに教えていただきました。子どもたちがよく知っている内容や初めて聞く内容等、いろいろなことを学ぶことができました。今後は、子どもたちが自ら課題をもって調べてまとめていくこととなります。

本校では、「地域とともにある学校」を掲げ、地域との関わりを大切に体験学習を実施しています。これからも、ふるさとの自然や文化、歴史、人からふるさと「北川」について学ぶとともに、地域の人々との触れ合いを通して、地域やそこに住む人々に対する思いやりの心をもった子どもを育てていきたいと考えています。



「思いやり」の心で! 『なかよし班遊び』



15日(水)のロングの昼休み(水曜日は掃除なし)を活用して、「なかよし班遊び」を行いました。高学年の子どもたちが班のみんなをリードしながら、運動場や体育館で楽しく遊びました。

人は、人との関わりを通していろいろなことを学んでいくものです。しかし、近年は、社会の変化や少子化等から遊ばない子や遊べない子が増え、友達関係の在り方に未熟さや歪みが表れたりするなど、好ましい友達関係が構築されにくくなったと言われています。こうした背景を受け、縦割り班活動の充実が求められるようになってきました。



子どもたちは、「なかよし班活動」や「なかよし班遊び」を通して、「協調」「協力」や「リーダーシップ」「フォロアーシップ」など、たくさんのことを学んでいきます。これらは、社会生活においても必要とされるものです。そのため、子どもたちにとって1日の多くを占める学校生活の中で集団活動の

在り方は極めて重要だと言えます。

